昔の名前が活きています

川名　義男

二葉中央町会で生まれ育ったので、地元や区内の地名に自然と関心を持つようになりました。

48号では、品川歴史館・図書館・第五地域センターの史料とともに、以前、松野町会長に取材したテープを何本もおこして記事にしました。自分の興味があることなので、非常に勉強になり、より詳しい知識が増えました。

例えば、旗の台は、源平合戦の時に源氏が白旗を立てて戦勝祈願したのが由来だと聞いていました。一般の人が思う源平合戦とは、1156年の保元の乱、59年の平治の乱による平清盛の政権に対し、1180～85年の治永・寿永の内乱から源頼朝・義経による平治滅亡です。

しかし、この旗の台のそれは、1028～31年に千葉で上総介平忠常の乱の平定に、藤原道長に仕えていた源頼信が追討史として出陣したもので所謂源平合戦の150年以上も前の出来事なのです。その源頼信の子が頼義で、東北の前九年の役の時に鎌倉の由比ケ浜に八幡宮を創建、その子の義家が前九年と後三年の役を鎮定し源氏が東国に基盤を築く基を作ったのです。その100年後に源頼朝が鎌倉幕府を作るのです。

ところで、新しく町会員になった方に蛇窪・杜松・立会の由来を聞かれることがあります。その時には説明してあげて、戸越や荏原の由来もつけ加えます。「第五つうしんを長年やっていてよかった」と思う瞬間です。

横須賀散策　初めてのイラスト経験

長尾　春代

横須賀への取材の時の事です。横須賀中央駅で下車。徒歩で20分程で水と光と音楽をテーマに日本都市公園100選に選ばれた三笠公園に到着。日本海海戦時の旗艦「みかさ」を目のあたりにしました。当時の説明を聞き、勝っても負けても多くの犠牲者が出る現実がある事に心を痛めました。

港では不思議な形の潜水艦や時代の最先端を行くというイージス艦も見られましたが、平和な時代が永く続くように強く祈りました。

どぶ板通りは横文字の看板が多く基地の街を感じました。なかでもスカジャンと呼ばれる上着は派手な刺繍が外国人に好かれておみやげとして売れているようです。名物の海軍カレーも昼食でいただきました。変化のない海での生活で曜日を忘れないように毎週金曜日に出し、牛乳がつきます。生活の知恵なのでしょうね。

すっかり観光気分で1日を楽しく過ごす事が出来て満足でした。

数日後、櫻井さんが、マップの挿絵にスカジャンを描いてほしいと訪れ、即座に「絶対無理!!」と断りましたが、描き方を丁寧に教えて頂き挑戦する決心をしました。本紙ではマップの一部でしかありませんが、思い出に残る作品です。

幻の新道商店街

藤田千寿子

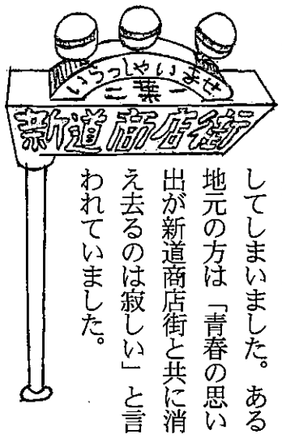
町内には二葉1丁目商店会と新道商店街があり、二葉1丁目商店会はバス通りの三間通りにあります。昔は旅館、弓道場、香料会社、銭湯、電球製造会社、綿工場、料亭、ジョナサンがありました。

現在はマンションが増え、店舗数が減りましたが、大型スーパーも有り、共に頑張っています。

一方、新道商店街は大井町線の下神明駅から大井町駅に抜ける細い道で、駄菓子屋、下駄屋、鞄店、肉屋、薬局、化粧品店、傘屋等が記録に残っていますが、町内の方に伺うと、圧倒的に飲食街のイメージだそうです。スナック、寿司屋、小料理屋、オカマバー等。夕方になると、勤め帰りや近隣の方が集い大盛況だったようです。

その内で「やきとり　とん助」は良い物を美味しく、安く提供して人気となり、連日賑やかで、御主人は町内の若者に声を掛け「若葉会」を結成。「餅つき」等をして町の人を楽しませ、町会のまとまりにも大きく貢献しました。

その商店街も平成8年に補助26号線の工事が始まり片側（南側）のすべての店舗が取り壊わし、平成26年には大井町線ガードの耐震工事のため、残った店舗もすべて取り壊わしとなり70店舗は、18年間に2回の都市計画等により消滅してしまいました。ある地元の方は「青春の思い出が新道商店街と共に消え去るのは寂しい」と言われていました。



下神明駅　バリアフリー化工事進む

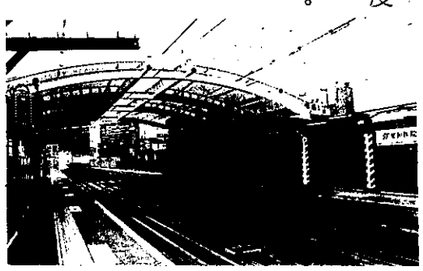
東急大井町線「下神明駅」。

高架駅および構造のため、高齢者がホームにたどりつくまで休みながらの姿を多く見ます。ベビーカー利用者にとっては難所となる階段。等々「一日も早く駅構造を改善して欲しい」との声が多いと第五つうしん・第108号で掲載。バリアフリー化の定めもあり改善工事が着工されるのを待たれていました。

東急側としては、高架・駅構造・敷地などによる立地条件が整わず解決までに相当の時間を要しました。

東急敷地内の生活道路は閉鎖され使えなくなりましたがバリアフリー化工事は昨年より着工し進捗しています。

エレベーターは今年2月に完成し稼動しています。エスカレーターの新設と駅舎・ホームの改善工事などは平成26年度完成予定で進捗しています。来春の頃には現在の雰囲気とは違う素晴らしい駅に様変りして迎えてくれることでしょう。


（平成26年6月）

（平成23年4月）

下神明駅

補助26号線　完成間近か工事進む

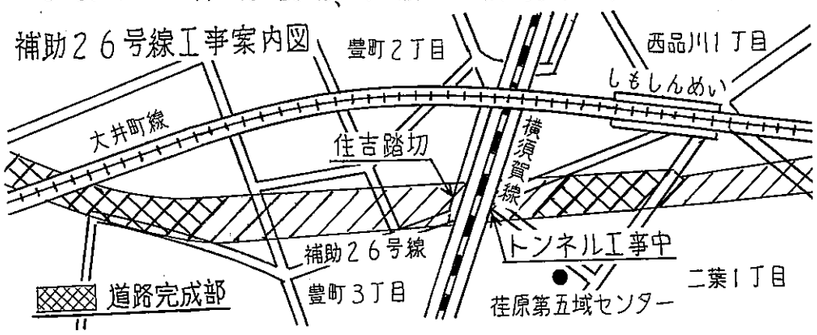
現在、東急・大井町線沿いの二葉1丁目及び豊町2丁目地内で道路工事が行われています。

「東京都市計画道路事業補助線街路26号線」で目黒通りと海岸通りを結ぶ道路です。この区間の工事が完成すると全線開通となります。

工事完成予定は平成8年度でしたが現在に至っています。

都立大崎高校区間は完成開通待ち、1期工事区間は既に完成使用中です。

今、最終の2期工事区間（450m）の工事が行われています。

この区間の難工事である横須賀線下村踏切下のトンネル部と前後の工事が進行中です。あと2～3年で完成することでしょう。

この工事に伴ないタコ公園が現在地に移転しました。大タコは新替製作、小タコは移設、工事完了後隣接の資材置場が解除された後、素晴らしい公園に生まれ変わるでしょう。